

104-296

問題文

66歳女性。忙しい夫の会社を手伝っている。遠方に住む共働きの息子夫婦に半年ほど前に子供ができ、世話を頼まれたので、忙しい中、自宅と息子夫婦の家の行き来を繰り返している。

2～3週間前より、気分が優れず、食欲がなくなり、眠りにつくにも時間がかかるようになった。女性は、理由はわからないが「きっと私のせいで夫の会社が倒産する」と思うようになった。心配した夫と一緒に精神科を受診し、うつ病と診断された。

以下の処方箋を持ってこの患者が来局した。

(処方1)

セルトラリン錠 25 mg 1回1錠 (1日1錠)
1日1回 夕食後 7日分

(処方2)

エチゾラム錠 0.5 mg 1回1錠 (1日3錠)
1日3回 朝昼夕食後 7日分

(処方3)

エスゾピクロン錠 1 mg 1回1錠 (1日1錠)
1日1回 就寝前 7日分

問296

この患者の病態、症状及び検査に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. Self-rating Depression Scale(SDS)は診断に有用な評価スケールである。
2. 被害妄想状態が認められる。
3. 誇大妄想や精神運動制止が認められる。
4. 食欲不振は身体症状である。
5. 睡眠障害は中途覚醒である。

問297

薬剤師がこの患者に対して行う説明として、適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 胃腸症状が出現したら休薬してください。
2. 処方1は、処方2の副作用を軽くするための薬剤です。
3. 睡眠途中で目覚めた時の出来事を覚えていないことがあります。
4. 口が乾くことがあります。
5. 処方2と処方3の薬剤は長期間服用する必要があります。

解答

問296 : 1, 4問297 : 3, 4

解説

問296

選択肢 1 は妥当な記述です。

SDSは「朝方、一番気分がいい 1 : ないか、たまに、 2 : とときどき、 3 : かなりのあいだ、 4 : ほとんどいつも」などの 20 項目の質問に答えるものです。

選択肢 2 ですが

被害妄想とは「自分に被害、危害を与えられていると、根拠なく確信している妄想」です。そのような妄想は見られません。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 ですが

誇大妄想とは「自己を過剰に評価する妄想」です。そのような妄想は見られません。また、精神運動制止は「思考、決断などの精神活動の停滞」です。そのような徴候は、問題文からは読み取れません。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 は妥当な記述です。

選択肢 5 ですが

「眠りにつくにも時間がかかる」とあるので「入眠障害」と考えられます。エスゾピクロン（ルネスタ）1mg の処方とも符号します。（ちなみに、ルネスタは高用量（2mg,3mg）で、中途覚醒にも効能が認められています。）よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、問296 の正解は 1,4 です。

問297

選択肢 1 ですが

セルトラリン（ジェイゾロフト）は SSRI です。セロトニン刺激作用により、胃腸症状（吐き気、下痢、便秘など）が代表的な副作用です。この症状は飲み始めがピークであり、だんだん症状が落ち着く傾向が知られています。そのため、予め症状について説明しておき、慣れるまで服薬を継続するように、症状がづらいようであれば、ガスモチン等を併用する、といった説明が必要と考えられます。「胃腸症状が出たら休薬」ではありません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

処方 1 は、抗うつ剤です。処方 2 は、うつ病に伴う不安に対する抗不安薬です。「処方 1 が、処方 2 の副作用軽減のため」ではありません。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 は妥当な記述です。

エスゾピクロンに関する注意点です。減量や、別の薬への変更といった対応が考えられます。

選択肢 4 ですが

エスゾピクロンが抗コリン作用も有するので、口渇の副作用が知られています。

選択肢 5 ですが

処方2,3 共に、漫然とした長期投与を避けるべき薬剤です。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、問297 の正解は 3,4 です。